

平成29年度第1回泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会
(会議録要旨)

開催日時 平成29年5月29日(月) 午後1時30分から午後2時45分まで

開催場所 泉大津市立高齢者保健・福祉支援センター(ベルセンター) 2階第1研修室

案 件 1 アンケート調査結果について
2 事業所アンケート(案)について
3 事業計画策定スケジュールについて
4 その他

出席者 川井太加子、藤原一樹、加藤聡子、丸山喜弘、上栗美稚子
曾我智子、三井寛子、高寺壽、細川憲伺、山本真也、中田正義、長野正広

欠席者 畠山美子、菊地正代

事務局 社会福祉事務所長 松下 良
高齢介護課長 向井 由佳子
地域包括支援センター所長 寺田 幸二
高齢介護課長補佐 大和 宏行
高齢介護課高齢福祉係長 川上 満子
高齢介護課介護予防係長 山村 典弘
高齢介護課認定給付係長 天野 貴雄

傍聴者 1名

[司会] 泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会設置要綱第5条第2項の規定により、委員14名中12名の出席があり、会議成立の報告。

案件1 アンケート調査結果について

[事務局] アンケート調査結果について説明。

[委員長] ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、何かご意見ご質問はございませんか。

[委員] アンケートの男女の比率は一緒なのですか。

[事務局] 女性の方が多いです。在宅でも女性の方が多いです。

[委員長] どちらも女性が多いということです。75歳以上の方々については、これから

支援が必要になってくるとアンケートからもわかると思います。75歳以上でアンケートに答えられている方々が、どこまで今の状況を維持できるかです。維持できないと施設入所などに変わっていくと思います。

[委員] 重要なのは、どのようなサービスが足りていないのか、このようなサービスがあればいいという部分だと思います。その辺りをどのようにとらえて、拾っていくのがキーだと思います。

[委員長] アンケートの結果からみると、訪問介護や施設がもっと増えればよいという意見が比較的多くなっています。もう一つ先をみると、自宅でできるだけ長く生活したいけれども、何か病気になれば施設を利用したいという意向がみられます。意見にもう少し踏み込んで、どのような方にそのような意見が多いのかということ进行分析していただくと、これからの検討につながると思います。

[委員] 介護予防の教室に来て下さる方は女性が圧倒的に多く、男性の参加が非常に少ないです。老人クラブの活動では男性は意外に多かったです。アンケート結果の40ページ、地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向をみても男性の方が高くなっています。ところが地域での健康づくりに参加しているのは女性の方が圧倒的に多いです。高齢になると男女の差が出てくるので、その辺りをどのように掴みながら、うまく地域づくりにつなげていくのかと感じます。

[委員長] 先日、5市1町の方々が集まった地域協議会があり、泉大津市代表で高齢の方も入られていました。その方は「泉大津市は市長が若くなったので、高齢のことは高齢にまかせて、市長は子供のことをしっかりとやってください。」と書いていました。

[委員] 元気な方はそれでいいかもしれませんが、ある程度歳をとってくると、どこか体に悪いところがでてきます。体が悪くなると参加自体が厳しいと思います。元気な方が集まってくるので、そこから漏れてくる方をどのように拾っていくのが問題だと思います。

[委員長] それこそ緩和AやBをこれからどのようにしていくかです。

[委員] 参加する方は、何もしなくても参加します。参加できない方をどのように取り込んでいくかです。

[委員長] 他に何かございませんか。それでは次の案件に入らせていただきます。事業所アンケート（案）について、事務局よりご説明をお願いします。

案件2 事業所アンケート（案）について

[事務局] 事業所アンケート（案）について説明。

[委員長] 何かご意見、ご質問はございませんか。

[委員] 問5「貴事業所では、従業員の過不足の状況はどうですか」の部分ですが、今、若い従業員もいますし、年配の方も従業員として働いておられます。施設としてどの辺りまでを従業員とするのでしょうか。人数だけで聞かれているのでわ

かりません。

[委員長] 確かにざっくりしか聞いていません。もう少し内容に踏み込んだ質問を追加していただいてもいいでしょうか。

[事務局] 年代的なものです。考えさせていただきます。

[委員長] 他に何かございませんか。

[委員] これは無記名ですか。

[事務局] 事業所名がわかる形になっています。

[委員] 書きにくいとか答えにくい質問があると思います。問8です。

[委員長] アンケートで聞く意味、アンケートを記入する側に何かメリットはありますか。活用されるものがあれば意味があります。

[事務局] 事業所の廃止状況を聞いていますと、従業員の不足などありますが、実際のところは経営ができなくて廃止したところが掴めません。表面的に出ているのは人員不足ですが、実際はそうでないという部分も掴めると思います、

[委員長] 他に何かございませんか。

[委員] 問3ですが、40種類までのサービスしかないのですか。その他という項目は入らないのですか。

[事務局] 介護保険法上のサービスと介護保険外のサービスということで40種類を書かせていただいております。

[委員] 泉大津市内でこのアンケートを配布する事業者数はどのくらいですか。

[事務局] 約140事業所くらいあります。

[委員長] 他にございませんか。

[委員] 残りのキャパシティがどのくらいなのかという質問はなくても大丈夫なのですか。

[事務局] 現行サービスの利用者が多い中で、Aを利用している方もまだ少ないです。サービスAの事業所の拡大やBの社会資源にもっていくかという部分は、この1年間でみていこうと思っています。

[委員] 法に定められた事業所はここが足りない、ここが多すぎるとなっても市がそこに対して何かできるものではございません。要件が整えば事業者指定されますので、今の制度の中では規制はかけられません。

[委員長] ありがとうございます。他にいかがでしょうか。それでは次に移ります。事業計画策定スケジュールについて、事務局より説明をお願いいたします。

案件3 事業計画策定スケジュールについて

[事務局] 事業計画策定スケジュールについて説明。

[委員長] ありがとうございます。一通り案件が終了しました。本日が初めての会議になりますので、感想でも結構ですので一言いただきたいと思います。

[委員] 高齢者を支えるワークショップに参加させていただいているのですが、その中で活動に参加しない高齢者にどのようにアプローチしていくか、地域の方々も

悩んでおられました。参加したくないという方々も多数おられる中で、その方たちが何なら参加するのか、どのようにアプローチしていけばいいのかということを考えながら、本日、話を聞かせていただきました。

[委員長] ありがとうございます。よいアイデアが出てくればお聞かせいただければと思います。

[委員] 最期まで自宅でいたいという意向が多いということが改めてわかりました。実際、施設に入所された方がスムーズに家に帰れるという状況は、正直難しいです。その辺りについて、ご家族を含めながら在宅の生活をどのように支えていくのか。在宅に帰れば、ケアマネジャー、事業所がどのように関わっていき、想いを叶えられるように今後取り組んでいかなければならないという部分が改めて気づけました。他のケアマネジャーとも意見交換しながらサービス事業所も含めて、よりよい泉大津市になるように取り組んでいければと思います。

[委員長] ありがとうございます。

[委員] 介護相談員をさせていただいています。施設を回って一番感じることは、どの施設も運動不足だと感じています。介護保険の中でそのようなことをするのはなかなか難しく、また職員の方も忙しく時間がないので、問題を置いたままの状況になっています。運動がもう少しできれば元気になって家に帰れることもできるのではないかと思います。

[委員長] ありがとうございます。

[委員] 民生委員と自治会長をさせていただいておりますが、元気な方とそうでない方の格差がひどくなっています。ただ自治会でも状況は把握できていません。つれ合いがいなくなつて辞める方や母親の介護の関係で辞める方がいます。さみしく思います。元気でない方はアンケートに回答してないと思うので、アンケートの数値よりも実際はもう少し悪いという印象です。

[委員長] そのようなお話はよく聞きます。地域包括支援センターが連携して漏れていきそうな方をもう一度引っ張り上げることをしなくてはなりません。

[委員] 様々な調査結果が出ていますが、この調査結果に対してどのように対応していき、在宅介護、介護予防をどのように進めていくのかが、泉大津市全体の大きな課題になってくると思います。

[委員長] これからは、この調査結果をもとに計画作成に入っていきますので、またご意見等をいただければと思います。

[委員] 医療側からは、福祉計画や介護保険計画の知識がなさ過ぎて我々ももっと勉強していかなければと感じました。

[委員長] ありがとうございます。一巡しましたが他に何かご意見等はありませんか。それでは次に案件、その他について何かございませんか。

案件4 その他

[事務局] 本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。その中で一部修正等

があると思いますが、事務局が委員長にご相談させていただき委員長の承認で完成させたいと思いますので、ご了承いただきたいと思います。

[委員長] 本日の案件は以上で終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

[事務局] それではこれで委員会を終了させていただきます。次回に委員会は8月の午後を予定しておりますので、よろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございました。